

平成 28 年度の活動実績

(1) 医療安全全体研修会（全職員対象のみ）

① 必須研修

- 1) 5月4日間（30分/回） 合計8回 同じ内容で開催
演 題 「認知症を理解して、みんなで安心な援助をしよう」
方 法 講義とDVD
出席者 （補講を含めて） 293名（96.7%）

- 2) 11月4日間（30分/回） 合計5回 同じ内容で開催
演 題 「医療事故発生時の対応 一連絡と現場保存一」
方 法 講義と部署ごとグループワーク、全日程終了後に各部署で振り返り
カフアリスを実施
出席者 （補講を含めて） 312名（98.4%）

- 3) BLS研修（90分/回） 1回9名受講で1年間に23回実施
出席者 197名

② その他の研修等

- 1) 10月 QCサークル発表大会
- 2) 12月 医療の改善活動報告会「インテグリティKYTの取組み」
- 3) 2月 RMによる業務改善報告会

(2) 医療安全管理室だより 339号～356号（全18回）の発行

《トピックス》

- 339号 2015年度 医療安全に関する報告のまとめ
- 341号 患者誤認防止
- 342号 薬と食品の相互作用に注意
- 343号 身体拘束の弊害
- 344号 輸液ポンプ操作は、確実ですか？
- 346号 肺血栓塞栓症診断・治療マニュアル
- 348号 good job 報告
- 349号 迅速評価（キラースンプソム）
- 350号 静脈血栓塞栓症予防の院内認定制度
- 355号 「ピリン禁」は「アスピリン禁」ではありません！
- 356号 ニトロペンは病棟常備薬です

(3) 医療安全管理者の相談業務

相談延件数 130件（うち、新規80件～患者家族 19% 職員 72%）

(4) 社会貢献

① オープンカンファレンス（医療安全公開研修及び地域医療支援研修会）の開催

1) 6月 テーマ 危険回避

- ・トラブル回避！患者と医療者の対話について(医療コンフリクト・マシメイト)の紹介
- ・感染KYT（危険予知トレーニング）

出席者 院外 88 名、院内 30 名

2) 11月 テーマ 医療安全について

みんなで、転倒転落事故について考えよう ～要因分析って知っていますか？～

出席者 院外 66 名、院内 36 名

② 山口県看護協会の支援を得て、岩国・柳井・周南圏域医療安全ネットワーク交流会を 3回（4・7・11月）企画開催した

(5) 医療安全管理室の学会発表等

① 日本医療マネジメント学会 第15回山口県支部学術集会

「医療安全対策加算の要件を組織で活かす業務改善報告会の取組み」

(6) その他、改善事項など

① 4月 安全ハンドブック第4版 配布

② QCサークル活動

「病棟の常備薬を減らそう～その薬、常備薬として本当に必要ですか？～のテーマで、病棟の内服常備薬の運用を改善、H29年1月から外用常備薬も同様の方法を導入